

令和4年度シラバス (地理歴史)

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	地理歴史(地理B)	単位数	2単位	学年(コース)	5学年(自然科学コース)
使用教科書	帝国書院『新詳地理B』 帝国書院『新詳高等地区』				
副教材等	帝国書院『新詳地理資料 COMPLETE』、東京法令出版『ニューコンパスノート地理』、 二宮書店『データブック・オブ・ザ・ワールド』				

1 学習目標

現代社会の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 指導の重点

- ①身近な地域や自分自身の生活と関連付け、世界の諸地域の地理的事象について、意欲的に追究する。
- ②現代世界の諸課題について、系統地理的・地誌的に考察することができる。
- ③地図や統計などの資料を自ら分析し、現代世界の地理的事象について読み取ることができる。
- ④現代世界の国や地域及びそれらの関係性などについての基本事項を理解している。

3 学習計画

月	単元名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	1章 地理情報と地図	1節 地図の発達 1 現代世界の地図 2 世界観の変化と地図	1	定期テスト 週末課題
		2節 地図の種類とその利用 1 地球上の位置 2 時差の求め方 3 地球儀とさまざまな地図	3	定期テスト 週末課題
		3節 地理情報の地図化 ・情報の地図化や読み取りなどの活動を通して、地図の有用性を理解する。 ・地理情報を地図上に表現する際の効果的な表現方法を考察する。	1	定期テスト 週末課題
	2章 地図の活用と調査	1節 地図の活用 2節 身近な地域の調査	2	定期テスト 週末課題
5	1章 自然環境	1節 世界の地形 1 地形の成因 2 地球規模の大地形 3 河川と海岸の小地形 4 そのほかの特徴的な地形	11	定期テスト 週末課題
6		2節 世界の気候 1 気候の成り立ち 2 世界の気候区分 3 気候と植生・土壌 4 変化する気候	11	定期テスト 夏課題テスト 週末課題
7				
8				
9				

10	2章 資源と産業	4節 環境問題	<ul style="list-style-type: none"> 世界の環境問題について、その背景や原因、影響、対策を多面的に考察する。 日本国内の環境問題について発生した背景や問題解決への取り組みを考察する。 	5	定期テスト 週末課題
		1節 世界の農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> 世界の農林水産業について、自然条件や社会条件と関連づけて農業の地域区分をとらえる。 現代世界の農林水産業の現状と課題を考察する。 世界のなかでの日本の農林水産業の課題を考察する。 	8	定期テスト 週末課題
		2節 食料問題	<ul style="list-style-type: none"> 食料問題について、世界の食料需給の地域的なかたよりをとらえる。 発展途上国と先進国の問題事例を考察する。 日本が抱える食料問題を考察する。 	5	定期テスト 週末課題
11		3節 世界のエネルギー・鉱産資源	<ul style="list-style-type: none"> 世界のエネルギー・鉱産資源について、それぞれの種類や分布、利用の現状や方法を考察する。 	5	定期テスト 週末課題
12		4節 資源・エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> 資源・エネルギー問題について、世界と日本の資源・エネルギー問題の概要をとらえる。 問題の原因や近年の動向、問題解決の取り組みを考察する。 日本が抱える資源・エネルギー問題を考察する。 	5	定期テスト 週末課題
1		5節 世界の工業	<ul style="list-style-type: none"> 世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題を考察する。 日本の工業の特徴と課題を考察する。 	10	定期テスト 春課題テスト 週末課題
2					
3					

計70時間 (50分授業)

4 課題・提出物等

- 週末課題として、その週に学習した内容を「ニューコンパスノート地理」や白地図ワーク等で復習。課題ノートに行い、週明けに提出。
- 夏休み課題、冬休み課題は別途指示します (ニューコンパスノート、白地図ワークなど)。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)		(知識・理解)
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 の 技能	知識・理解
地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それらを自分自身の生活とも結びつけることによって、意欲的に追及することができる。	現代世界の諸課題について、系統的に考察する、または、歴史的背景を踏まえて地誌的な考察をすることによって、その過程や現状について適切に表現することができる。	地理学習に必要なとされる諸資料を収集し、その中からの確に情報を取捨選択して、読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。	地理的諸事象についての基本事項や追及する方法を理解することができる。
以上の観点を踏まえ、 ・週末課題、夏休み課題、冬休み課題の取組・提出状況 ・定期考査と課題考査 などから、総合的に評価します。			

6 担当者からの一言

「地理」は、視野を広げ、様々な事柄に興味を持つことが大切です。また、現代の諸課題について、単に事実を知るに留まらず、自分の意見をまとめ、それを表現することが求められます。受験を見据え、地理の内容を、「覚える」だけでなく、しくみや理由、つながりなどをできるだけ早く「理解」しましょう。わかれば楽しい科目ですよ！
(担当：長岡 大)